

ソフトボール大会 感染予防対策ガイドライン

1. 感染予防の基本的な対応について

(1) 十分な距離の確保

運動をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離を空けてください。感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けることが適当とされています。

(2) マスクの着用

基本的にマスクを着用するようにしてください。なお、マスクを着用して運動を行った場合、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があることや、体温を下げていくなつて熱中症になりやすくなることに注意をしてください。また、息苦しさを感じた時はすぐにマスクを外すことや休憩を取る等無理をしないようにしてください。

(3) うがい・手洗いの実施・手指消毒の実施

うがい・こまめな手洗い・手指消毒を徹底してください。

2. 実際の活動場面における注意事項

- ① 大会当日は必ず検温をしてから参加する。風邪気味や体温が高い時は参加させないようにすること。
- ② 汗ふき用のタオルは個人用として、共用しない。
- ③ 飲み物は個人の水筒やボトルを使用して、共用しない。
- ④ 試合、練習後は手洗い・うがいを必ず行う。
- ⑤ 行き帰りは、マスクを着用する。
- ⑥ 試合、練習中に選手の体調不良が把握された場合は、速やかに帰宅させるようにすること。
- ⑦ 家族や身近な人に発熱や風邪の症状などの体調不良が確認された場合は、大会に参加させないようにすること。
- ⑧ 熱中症対策も忘れずに行う。水分補給や休憩などをこまめに行う。
- ⑨ 応援のチームメンバーの人数も必要最低限にする。応援の方はマスクを着用し、大声での応援はしない。

3. 大会運営対応

大会を運営するにあたって下記の通り(1)～(4)のポイントから感染防止に努めます。

① 検温について

会場入場時にすべての方へ検温を行います。入場時の検温が難しい場合は、来場当日に自宅での検温を行うように参加関係者に連絡します。

その際、体温が37.5度以上の方は入場をお断りし、適切な医療機関への受診をご案内します。また、会場にはアルコール消毒液を必ず設置し、合わせて入場者に必ず手指の消毒をお願いします。入場の際にはマスクの着用を必須とします。

② 開会式・閉会式

密を避けるため、選手同士の間隔を広く取ります。特に前後の間隔を意識的に広く取ります。選手はマスク着用を必須とします。所要時間を短縮し、必要最低限の内容にします。

③ 競技について

選手、審判員など試合に関わる方には試合の前後に必ず手指の消毒をお願いします。試合終了後は、共用物は消毒をお願いします。

④ その他

- ・万が一会場が新型コロナウイルス感染者が確認された場合、保健所等の行政機関

による聞き取り調査等にご協力いただく場合があるため、チームごとに当日来場された方の氏名・体温・代表者連絡先を大会事務局で用意するシートに記入の上、提出してください。大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が確認された場合は、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。検温シートは当日会場で配布します。

4. 参加する選手の皆さんへ

参加する選手に向けて下記の項目を厳守していただくよう事前に周知します。また下記の事項を厳守できない参加者に関しては、大会の安全を確保するため参加の取り消しや、退場いただく場合があります。

- ① 会場入場時の検温と手指のアルコール消毒
→必ず検温（会場または当日来場前に自宅で）を行い、体温が 37.5 度未満であることを確認したうえで、手指のアルコール消毒を行っていただきます。
- ② 競技以外マスクの着用、タオルの共用は行わない
- ③ 体調管理の徹底
→熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合は参加しないこと。大会前 2 週間において以下の項目に当てはまる方は参加をご遠慮いただきます。
 - 平熱を超える発熱
 - 咳、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - 嗅覚、味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすいなどの症状
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われている方がいる
 - 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等へ渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ④ こまめな手洗い・アルコール等による手指の消毒
→清潔を保つため、除菌の徹底をお願いします。大会事務局で必要な備品（アルコール消毒液等）を用意します。必ず使用のうえ徹底いただきます。
- ⑤ 大声での応援の自粛
→大声を出すことで飛沫感染を引き起こす原因になります。マスクの着用はもちろん、大声を出さないように徹底をお願いします。
- ⑥ ごみの持ち帰り
鼻水、唾液などが付いたごみや使用済みマスクは持ち帰る。

5. 競技場の留意点

- ① バット、ヘルメット、グローブ、打撃用手袋などは各選手が使用し、可能な限り他の選手との共用を回避するように努め、共用せざるを得ない用具については、こまめに消毒を行う。
- ② 唾を吐く行為を禁止する。
- ③ 選手、特に投手は指を舐めてはいけない。
- ④ 握手、ハイタッチ、グータッチ、ハグなどの身体的接触を避ける。
- ⑤ ベンチ内での選手間の距離は、できるだけ 2m（最低 1m）確保する。
- ⑥ ベンチ内には消毒液を設置する。
- ⑦ ベンチ内から声援や指示を出す場合は、対人距離に注意する。
- ⑧ 球審はマスクを着用する。
- ⑨ 試合開始時の整列及び礼は、球審の集合準備の合図で両チームがベンチ前に整列し、その場で礼をして行う。試合終了時も同様の形態とする。
- ⑩ タオル・ペットボトル・コップ等の共用は避ける。